

芸術 科 2 年		音楽		年間授業計画（シラバス）	
科目名	音楽 I	対象	全	コース	単位数 2 単位
教科書	MOUSA（ムーサ） 1		出版社 教育芸術社		
副教材	なし		出版社 なし		

1 学習の到達目標

- ① 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を養うとともに、感性を高め創造的な表現力を養い高める。
また、作曲者の名前や生涯、作品内容を理解した上で鑑賞能力を養い高める。
- ② 器楽や歌唱の実技により演奏技術や表現を学ぶ。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 内容	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、器楽、歌唱の音楽表現を工夫し、どのように演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、器楽、歌唱の音楽表現を工夫し、どのように演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	音楽や音楽文化に関心をもち、器楽、歌唱、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。
評価の 方法	学習態度 演奏 学習プリント	学習態度 演奏 学習プリント	学習態度 演奏 学習プリント

②成績評価の方法

- ① の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 1, 思考・判断・表現 1, 主体的に学習に取り組む態度 1

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	ガイダンス 基本の楽譜について 鑑賞① ヴィヴァルディ、 バッハ、ヘンデルの音楽	音楽教科の1年間の学習について理解する。	○			1
		楽譜についての基本を理解する。	○	○	○	1
		協奏曲集「和声と調和の試み」第1番「春」（ヴィヴァルディ）、「トッカータとフーガニ短調」（バッハ）、「オラトリオ」（ヘンデル）等を鑑賞しチェンバロやパイプオルガンをういたバロック音楽の作品と作曲者の生涯を理解する。	○	○	○	4

5	器楽① ギターでメロディーを弾く その①	ギターの基本を理解しつつ、「きらきら星」の楽譜を用いてメロディーを弾く練習をする。(テスト実施)。	○	○	○	7
6	映画鑑賞①	映画「天使にラブソングを2」を鑑賞し、ゴスペルソングの楽しさを味わう。また、感想文を書く。(点数に組み入れる。)	○	○	○	5
7	ゴスペル映画の鑑賞 (リズム①)	基本のリズムを手足を使って学ぶ(パート1)	○	○	○	1
9	鑑賞② モーツァルトの音楽	「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」(モーツァルト)を鑑賞し、弦楽合奏の響きを味わうとともに、ソナタ形式について理解する。また、モーツァルトの生涯と作品について理解する。	○	○	○	2
10	映画鑑賞② 作曲家を題材とした映画の鑑賞 (リズム②)	引き続き、映画「アマデウス」を鑑賞し、フィクションではあるがモーツァルトを題材とした時代の社会背景やふんだんに演奏されるモーツァルトの音楽を味わうとともに、ストーリー・脚本・演技・衣装・メイク・推理などもあわせて鑑賞する。また、感想文を書く。(点数に組み入れる。)	○	○	○	7
	器楽② ギターでメロディーを弾く その②	基本のリズムを手足を使って学ぶ(パート2) ギターの基本を理解しつつ、「メヌエット」(ベツォーリ)の楽譜を用いてメロディーを弾く練習をする。また、メロディーと伴奏を交互に分担し、お互いの音を聴きながら演奏する楽しさを味わう。(テスト実施)	○	○	○	1
11	鑑賞③ ベートーヴェン シューベルトの音楽	ベートーヴェンとシューベルトの生涯と作品について理解する。「交響曲第5番」「交響曲第9番合唱付き」やシューベルトの歌曲も鑑賞する。また、ベートーヴェンの「交響曲第6番」がたくさん流れる宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」のアニメ映画を鑑賞する。	○	○	○	4
	映画鑑賞③ 宮沢賢治と音楽	クリスマス時に海外でよく公演される「くるみ割り人形」(チャイコフスキー)を鑑賞し、バレエのストーリーを考慮しながら鑑賞する。また、チャイコフスキーの生涯と作品について理解する。	○	○	○	2
12	鑑賞④ バレエの鑑賞		○	○	○	2
1	器楽③ ギターでコードを弾く (弾き語り)	コード奏の指使いを理解し、「カントリーロード」のコード奏をメロディーに合わせて弾けるように練習する。また、それにより弾き語りの楽しさも味わえるように歌も覚える。(テスト実施)	○	○	○	8
2	鑑賞⑤ 東欧の音楽	「新世界から」(ドヴォルジャーク)を鑑賞し、オーケストラの響きを味わうとともに、5音音階の影響に着目して鑑賞する。また、ドヴォルジャークの生涯と作品について理解する。	○	○	○	2
	鑑賞⑥ オペラ(歌劇)の鑑賞	オペラ「椿姫」(ヴェルディ)を鑑賞し、オペラの有名な歌や場面を味わうとともに、総合芸術としてのオペラを理解する。また、ヴェルディの生涯と作品について理解する。	○	○	○	3
3	鑑賞⑦ アメリカの音楽	ピアノ独奏の入ったシンフォニックジャズ「ラブソディ・イン・ブルー」をベルリンフィルによる演奏で鑑賞する。	○	○	○	2

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

芸術 科 2 年 美術 年間授業計画（シラバス）					
科目名	美術 1	対象	全	コース	単位数 2 単位
教科書	美術 1			出版社	光村図書
副教材	なし			出版社	

1 学習の到達目標

- ① 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を養うとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を養い高める。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 内容	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
評価の 方法	学習態度 作品等の提出物	学習態度 作品等の提出物	学習態度 作品等の提出物

②成績評価の方法

- ① の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 1 思考・判断・表現 1 主体的に学習に取り組む態度 1

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	ガイダンス	美術教科の1年間の学習について理解する。	○			1
5	絵画（水彩画） 風景画	水彩絵の具による表現（透明水彩・不透明水彩） 自宅付近の風景描写（構図研究・色彩・遠近感） 画面構成、配色、マチエル、立体感、材質感の工夫 作品を完成させ提出する。	○	○	○	8
	鑑賞批評（講評）	風景画の作品批評（講評）	○	○	○	1
6 7	絵画（水彩画） 静物画	画面構成、配色、マチエル、立体感、材質感の工夫 果物を描き作品を完成させ提出する。	○	○	○	8

	鑑賞批評（講評）	静物画の作品批評（講評）	○	○	○	1
8 9 10 11	木彫 ペーパーナイフ制作	彫刻（木彫） 板材ローズウッドを使用してペーパーナイフ制作 クラフトデザインとしての機能を持たせ、単なる機能面だけでなく楽しいデザインとなるよう工夫する。 作品をサンドペーパーで磨きをかけ艶出しをして完成させる。 作品を完成させ提出する。	○	○	○	25
12	鑑賞批評（講評）	ペーパーナイフの作品批評（講評）				1
1 2	造形表現 スクラッチボードによる表現	一学期、二学期に制作した自分の作品やその題材（テーマ）を基にして、スクラッチボードによる作品を制作する。 ニードルを使用し、白と黒を生かした構成、点と線と面との構成などの表現をする。 作品を完成させ提出する。	○	○	○	14
3	鑑賞批評（講評）	スクラッチボード作品の批評（講評）	○	○	○	1

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

芸術 科 2 年		書道		年間授業計画（シラバス）	
科目名	書道 I	対象	全	コース	単位数 2 単位
教科書	書道 I	出版社 東京書籍			
副教材	なし	出版社			

1 学習の到達目標

- ① 生涯にわたる書を愛好する心情を養う。
- ② 書の伝統と文化についての理解を深める。
- ③ 感性を高め、書写能力の向上を心がける。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 内容	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。 書の伝統と文化について幅広く理解している。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価の 方法	学習態度 ワークシート 作品の提出物	学習態度 ワークシート 作品の提出物	学習態度 ワークシート 作品の提出物

②成績評価の方法

- ① の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 1, 思考・判断・表現 1, 主体的に学習に取り組む態度 1

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	ガイダンス	授業の取り組みを理解する。	○			1
	漢字の用筆法の練習	楷書体の臨書 特徴をとらえて書く。	○	○	○	2.
	漢字の臨書	楷・行・草・篆・隷書より自由に選択し臨書する。 特徴をとらえて書く。	○	○	○	4
	漢字臨書作品制作	公募展に出品するに当たり作品として仕上げる（四半切）。構成に注意し、特徴をとらえて書く。	○	○	○	4
	一字書	方筆・円筆の表現 用具の工夫、紙面構成 文字の意味を考えてイメージし、作品として清書する。	○	○	○	5
	漢字かな交じり書	語句の選定 用具の工夫、紙面構成 言葉の意味を考え構成に注意して作品を清書する。	○	○	○	6

漢字行書臨書 1	蘭亭序の臨書 半紙に六字書きで臨書する。 特徴をとらえて書く。	○	○	○	4
漢字行書臨書 2	風信帖の臨書 半紙に六字書きで臨書する。 特徴をとらえて書く。	○	○	○	4
色紙作品制作	語句の選定（漢字 4 文字）	○	○	○	1
	書体は行草体で草稿をつくる。	○	○	○	3
	いくつかの書風で書いてみる。				
	半紙で構成法に留意して練習する。	○	○	○	6
	色紙に作品として清書する。	○	○	○	2
	釈文を貼り付け仕上げ、鑑賞する。	○	○	○	2
仮名古筆臨書	「いろは」の練習 仮名の安定した線質と正確な字形を練習する。	○	○	○	4
	変体仮名の練習 正しい字形を練習する。	○	○	○	1
	仮名の用筆法の習得（連綿） 安定した線で自然な流れの連綿を練習する。	○	○	○	3
	「蓬萊切」の臨書 全体の構成に注意しながら、流麗な線で清書する。	○	○	○	4
実用書の練習	冠婚葬祭の語句 安定した線で正しい書き方を学び、仕上げる。	○	○	○	3
まとめ	1 年間の感想と反省	○	○	○	1

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。